

東海大学機友会とは！

東海大学機友会会長 内山 皓

この度「東海大学同窓会 75 年史」発行との事、誠にありがとうございます。ご存じのとおり東海大学の創立（1943 年）から 2 年遅れて同窓会の歴史が始まって今年（2020 年）に同窓会も 75 周年を迎える事になりました。驚くことは大学創立 4 年目の卒業生輩出時でなく 2 年目に同窓会が立ち上がった事です。初代総長松前重義先生の同窓会に寄せる期待の大きさと先見性に脱帽です。

この記念する 2020 年は昨年、中国武漢にて発生の「新型コロナウイルス」感染拡大防止の為、世界中が翻弄されております。日本では 8 月開催予定の東京 2020 オリンピック・パラリンピックが 1 年延期、学園も入学式の中止やオンライン授業と未経験の取り組み、我々同窓生にとり、衝撃的な 7 月末の霞ヶ関「校友会館」の閉館、そして 11 月の建学祭も同窓会 75 周年イベントもすべて中止となりました。当然同窓会各支部のイベントも残念ながら順延・中止を余儀なくされております。「コロナ」は近年の地球環境変動と人の過剰な動きにより、もたされた「人類への試練」です。真摯に受け止め、一日も早い対策が望まれており、安全な日常が戻ることを願っております。

「東海大学機友会」は東海大学工学部動力機械工学科系の「学科同窓会」です。

機械工学科は大学創立の 18 年後の 1961 年に創設され、当時は現在のように 3 学科でなく一体から始まり、その後各専攻となり、さらに現在のような 3 学科になりました。機友会は機械系学科設立 20 周年の 1981 年 11 月に故 萩三二名誉教授のご尽力により設立されました。同時に機械系 2 学科も学科同窓会を設立し、動力機械科工学科は「機友会」、生産機械科（現在は機械工学科）は「生友会」、精密機械科（現在は精密工学科）は「精密機械・精密工学同窓会」として誕生いたしました。

機友会は 1 万 5 千人の卒業生会員を有し業界各会に諸先輩方が活躍中です。主な活動は会則の目的「本会は会員相互の親睦をはかり、あわせて工学部動力機械工学科および大学院工学研究科機械工学専攻の発展に寄与することを目的とする」を掲げ主に湘南キャンパス中心で、下記の項目を活動中です。（卒業生は毎年開催の 11 月 3 日 PM5 時湘南松前会館「親睦会」に集合して下さい！）

4 月 入学式参列、新入生のガイダンス授業に参加して機友会の情宣活動

6 月 新入生を中心とした在学生との「在学生・教職員・OB 交流会」を開催（湘南「ログハウス」で金曜日の 17 時から軽食・ソフトドリンク付で和やかな交流（19 年第 8 回）

9 月 元東海大学教授 林 義正先生を講師にお迎えし「講演会」を開催（19 年第 8 回）

（林 義正先生は 1962 年日産自動車から東海大学に着任、10 年掛けてル・マンプロジェクトを立ち上げ、2009 年念願の世界初の学生チームで「ル・マン 24 時間レース」に参戦、惜しくも完走は出来なかったが 18 時間走行の実績を残された。その後はアジアンル・マンに参戦し完走の偉業を打ち立てて 2011 年にル・マンプロジェクトに幕を下ろし、3 月に退官なされた。

11 月 3 日（ホームカミングデイ）湘南キャンパス松前会館で午後 5 時より「萩 三二賞」授与式（2017 創設・3 年間で 7 人の受賞者、恩師萩先生の偉業を伝え継ぐため設立、意義は卒業後社会において学術・教育・文化などの活動を通じて卓越した業績を上げられた方を表彰する）授与式

のあとは親睦会を開催(19年第43回)・総会(19年第15回、総会は3年毎に開催)

12月 3年生の就活活動の授業に参加して、内定をされた院生・4年生をパネラーとして、どのように内定を得たのかと先輩方に真剣に質問する在学生との質疑応答会を開催(19年第10回)

3月25日 卒業式のあと教室にて、成績優秀の学生と機友会に功労のあつた卒業生10数名に「機友会賞」賞状・副賞を授与と同時に機友会役員任命書を交付いたしております。(昨年で受賞者数は343名)その他の活動は年3回の(6月、11月、3月)会報発行(1983年3月創刊、2019年3月第62号発行)と同総会各支部の総会・イベントに積極的に参加させて頂いております。
(詳細は東海大学機友会ホームページ、お問い合わせメール jimukyoku@kiykai.bousei.net.jp)

コロナ渦で大学も大変ですが、学科同総会「機友会」として最大の課題は2022年度の大学100周年に向けた大幅な改組に伴う学部・学科変遷です。工学部機械工学科系3学科も新たに改選されます。そして「機友会」も新会員の増員の歴史を閉じますが、「**機友会の歴史は不滅です**」

これからも「東海大学同総会」も創立100周年を見据えて東海大学と共に、益々のご活躍をご祈願いたします。